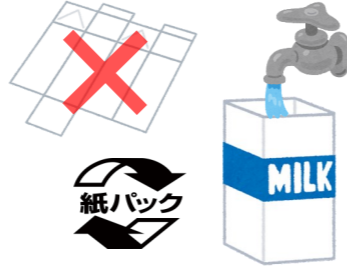


牛乳パックありがとうございます

いつも牛乳パックのご寄付をいただきありがとうございます。いただいた牛乳パックは利用者が切り開く作業を行い、道栄紙業で換金しています。今年度は例年より多い230kgを超える牛乳パックをいただきました。これからも引き続きご協力をお願いいたします。
※お酒パックなど紙パックマーク付きであれば大丈夫です。

牛乳パックは洗って乾燥。切り開かずに袋などに入れてご持参ください。



今月の一句詠む読む

俳句・川柳の投稿はカフェの投稿箱、もしくはEメール info@npo-tomoni.com へ。

詠み人解説

郵便料金上がり封書が110円。それでも出し続け郵便界の頂点に立ったとか、立たなかったとか。

数出せば
「百十の王」に
なれるかな？
郵便ライオン

詠み人解説

二十歳代の面影が残っている人、完全に変わってしまった人など、本人に確認しました。

同窓会
誰が誰やら
絵合わせか
山菜採りのおばさん

詠み人解説

五十代半ば、人生の秋を迎えつつある自分。老いを自覚する歳になってきたのか？

秋深し
鏡見るたび
爺(G)シヨック
山河水鏡

精神科医 土田正一郎の



その94 入院ありきの受診

もう家では生活できませんからと入院を強く希望する関係者（家族が多い）がいる。本人はあまり希望していないことも多い。そうなる何のための入院が分からなくなる。
治療ではなく、（家族の）安心のための入院になる。当然入院しただけで安心なんてできるわけないから入院期間は伸びていく。残念でならない。

各事業報告～11月15日現在

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

契約/B型22人

グループホーム
よろこび

利用者数 20人 空室2室
見学者2人 体験者1人

K. S. C. Juntos

当事者選手 9人
サポートスタッフ 2人

◆法人会員 正会員18人

賛助会員 団体6団体 個人47人

◆今年度寄付金 のべ53件 4,013,200円

◆寄付物品 牛乳パック お菓子 飲料

編集後記



今回のともにカップでK.S. C.Juntosは初の準優勝でした。選手の急な欠場が相次ぎ、一時加入選手でようやく出場した中の大健闘です。当日の話ではほかにも選手をやりくりして出場したチームがあったとのこと。困難に直面しても出場に向けて奔走する選手やサポートスタッフに改めて感謝するとともに、ここにソーシャルフットボールの魅力を感じました。（かわさき）

通信
ともに

第114号

2024年11月20日発行
認定NPO法人ともに

住所 〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com>

ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

今月の一枚



ともにカップ
熱戦を激写
共和町生涯学習センターにて

ともにカップの記事は次のページをごらんください

K. S. C. Juntos

ともにカップへの想い 井上先生寄稿

「ともにカップ、今年はいつですか?」「仕事の休みを取るので早く教えて下さい」。お盆を過ぎると、道内各地からこんな質問が相次ぎます。2016年から始まったソーシャルフットボールともにカップは、コロナ禍での休止を挟んで、今年で6回目となりました。道内ソーシャルフットボールの4大会（春の道東大会、夏のチャンピオンズカップ、秋のともにカップ、冬のサポーターズカップ）の一つとして、欠かせない大会となっています。

歴代の開催地は倶知安町から京極町を経て、現在の共和町へと移りました。立派な体育館で、公式審判団にもお越し頂けるようになって、大会のクオリティは格段に上がりました。それでも今なお、初期の会場である旧東陵中学校体育館の寒さと控室（昔の面影を残す教室）は、懐かしく思い出されます。今年の決勝戦はJuntos対Juntos Unitedの倶知安対決となりました。Juntosがあるから北海道のみんなが集まれる、そんなことを実感した2024年の大会でした。



井上 誠士郎 氏

北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ代表
北25条メンタルクリニックあいさに 精神科医



参加者全員で記念撮影（写真右橋手前から2人目が井上先生）

K.S.C. Juntos 6チーム熱戦 ともにカップ

10月13日、当法人主催第6回ソーシャルフットボールともにカップを開催しました。

すいかとメロンの町として知られる共和町開催は昨年
に続き2回目。会場の生涯学習センターでは6チームによる
白熱した試合が展開されました。

1位決定戦は、初めて決勝に臨むK.S.C. Juntosと常
連Juntos Unitedの地元勢同士。初盤は互角の戦いでし
たが終盤に点の取り合いとなりJuntos Unitedが3-2で
突き放し2年ぶり5回目の優勝を果たしました。
Juntosは初優勝を逃したものの過去最高の2位に！

主催：NPO法人ともに
共催：北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ
後援：共和町
協賛：(株)新誠、株式会社川端文化堂、焼肉一起

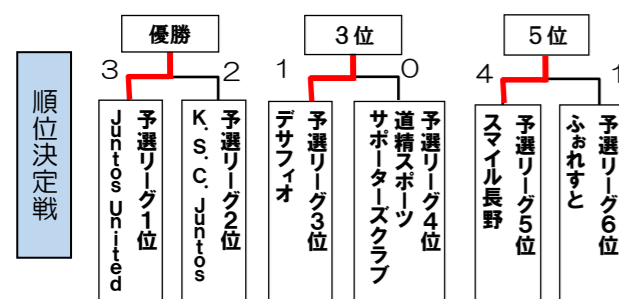


開会式 成田共和町町長より
あいさつ



1位決定戦、JUNTOS対UN
ITEDの試合前セレモニー

予選リーグ	Juntos United	Juntos	デサフィオ	道精サボ	スマイル長野	ふおれすと	勝	分	敗	勝点	得失点差
Juntos United		0-0 △	2-0 ○	4-0 ○	3-0 ○	5-1 ○	4	1	0	13	+14
K.S.C. Juntos	0-0 △		0-0 △	1-0 ○	4-2 ○	3-0 ○	3	2	0	11	+5
デサフィオ	0-2 ×	0-0 △		3-2 ○	7-0 ○	8-0 ○	3	1	1	10	+14
北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ	0-4 ×	0-1 ×	2-3 ×		4-2 ○	4-0 ○	2	0	3	6	0
スマイル長野	0-3 ×	2-4 ×	0-7 ×	2-4 ×		5-0 ○	1	0	4	3	-6
ふおれすと	1-5 ×	0-3 ×	0-8 ×	0-4 ×	0-5 ×		0	0	5	0	-24



第6回ともにカップ 最終成績	
優勝	K.S.C. Juntos United (倶知安町) ※2年ぶり5回目
2位	K.S.C. Juntos (倶知安町)
3位	デサフィオ (札幌市)
4位	北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ (札幌市)
5位	スマイル長野 (札幌市)
6位	ふおれすと (小樽市)

京極ほかほかまつりに出品販売



10月20日、京極町福祉センターでおこなわれた「第21回ほかほかまつり」でワークショップようていの商品を委託販売していただきました。売り上げは1万6000円あまりになりました。

今年は京極町出身のアーティスト、星明さんのスペシャルライブやハロウィーンパーティーなど新しい企画があったそうです(写真は京極町社会福祉協議会さん提供)

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

アビリンピック北海道



10月5日札幌市西区のポリテクセンター北海道で開かれた「アビリンピック北海道」を利用者と一緒に見学しました。障がい者の職業能力の向上を図る目的で開催されており、見学した利用者は、競技を熱心に見て仕事の意識を高めることができたようです。



喫茶サービス競技。身だしなみや言葉づかいかも審査対象です。



縫製競技のようす。今回の課題は「エプロン」



ネイル施術競技。ネイルアートのテーマは「自然」



木工競技。3時間で木の箱をつくる課題に挑みます。

参加した利用者さんの感想です。

〇さん…選手のひたむきでがんばる姿が印象的でした。
Iさん…同じカフェ作業をしているので、競技を観たのが経験になりました。
Hさん…卒業した学校の作品が展示されていて、懐かしく見ました。

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

晩秋の「秋じまい*」



豆を乾燥させるニオ積み。積んでしばらくすると背丈が縮むのです。(10月31日撮影、真ん中の写真も)



畑で茎からさやを外します。さやむきは冬期室内の大事な作業です。今年の豆の大きさは例年通りとのこと。



畑作業の終わりを告げる簡易トイレとトラクターの撤去作業。協力先の倉庫にしまいます。(11月12日撮影)

*秋じまい…収穫が終わったことを意味する秋の季語。「秋おさめ」とも。